

将来像（案）について

■ これまでの経過と次期農業構想の将来像

第1期（平成18～平成26年）

「食と花の都」

～日本一豊かで

にぎわいのある大農業都市～

<食と花の都の姿>

- ・多彩な食と花の都として躍動する都市
- ・元気な農業の担い手が地域と共に活躍する都市
- ・地域に根差した資源を次世代に継承し、磨きあげる都市
- ・水辺や緑、農地や里山など、豊かな自然が息吹く都市
- ・魅力ある田園環境を満喫する都市
- ・農業者と消費者が互いに恵みあう都市
- ・環境にやさしい農業に取り組む都市

第2期（平成27年～令和4年）

「食と花の都」

～笑顔あふれ

明日を拓く大農業都市～

(将来像を次の通り説明)

- ・おいしく新鮮で安心安全な食べ物、農業体験などの新潟市の農業の恵みをみんなが享受。
- ・農業が身近にある暮らしに市民が誇りと愛着を持ち、笑顔が絶えず、人々が憧れる暮らしが確立されている。
- ・農業における様々な課題を克服し、厳しい環境に打ち勝つ強い農業が確立。
- ・広大な農地を活かし、多様な農畜産物を生産供給する大農業都市として成長を続け、我が国の農業をリードしている。

第3期(令和5年～令和12年) (案)

「食と花の都」

～都市と田園の調和を活かした

持続可能な農業の実現～

○第3期では、これまでの農業構想で目指してきた都市の姿に加え、さらに「都市と田園が近接・調和する本市の特徴を活かし、農業者、農業関連団体、市民、食品産業に関わる事業者など様々な関係者が連携し、経済・社会・環境の三側面の豊かさと調和をはかり、高めながら、未来につながる持続可能な農業の実現に取り組む都市」を掲げ、農業・農村の振興に取り組みます。

※「食と花の都」とは

豊穡で魅力的な農業が育む「食と花」、本市が目指す田園型政令市のイメージ